

令和 7 年度第 1 回新潟県がん診療連携協議会研修教育部会議事要旨

- 1 日 時：令和 7 年 10 月 8 日（水）16：30～16:50
- 2 開催方法：オンライン（Zoom）
- 3 出席者：別紙のとおり

議事に先立ち、前任の若井部会長から部会長を引き継いだ渡部部会長より挨拶があった。

4 議 事

（1）各病院における研修会の実施状況について（資料 1）

各病院における研修会の実施状況について、資料 1 に基づき、以下のとおり、説明があった。

（新潟大学医歯学総合病院）

概ね、昨年と同様の研修会の実施状況である。研修会とは直接の関係はないが、今年度はコロナ禍で開催を見送っていた、がんサロン・がんカフェを再開する予定である。

（新潟県立がんセンター新潟病院）

例年通り、定期的な研修会を開催している。

（新潟市民病院）

コロナ禍で開催回数が減っていたが、徐々に開催回数が増えてきている。特に新しい取り組みはない。市民公開講座と院内の講演会を 2 か月に 1 回、開催している。

（長岡中央総合病院）

全職員対象のがんセミナーを毎月、定期的に行っている。

（新潟県立中央病院）

化学療法学習会の「免疫関連有害事象（irAE）事例集-モデルケースを学ぼう-」については、事例紹介を行っており、定期的な開催ではない。

（新潟県立新発田病院）

緩和ケア研修会とがんサロンを開催している。昨年度からがんサロンを再開することができた。転勤により、がん看護専門看護師が増えたことから、今年度は抗がん剤の暴露対策や ACP の研修会を計画しており、もう少しで実行できるところである。がんサロンについては、患者（入院患者含む）・そのご家族・職員を対象としており、ミニ講座と交流会を行っ

ている。

（魚沼基幹病院）

新しい取り組みはなく、前年度と同様な研修会を開催している。

（済生会新潟病院）

看護部及び化学療法委員会、緩和ケアチーム、看護部が中心に研修会を開催しているが、新しい取り組みはない。抗がん剤 IV ナースに関する講習会については、毎年、同程度の数の方が受講しており、トータル 100 名以上が資格を有している。通院治療室及び病棟の両方ではほぼ看護師が穿刺している。ただ、資格保有者にインセンティブはなく、名札にバッジをつけている程度である。

（上越総合病院）

資料に記載している研修会以外に緩和ケアチームが主催し、放射線治療科の医師からの集合型の緩和ケア研修会を開催している。なお、本研修会の動画はいつでも視聴が可能である。

（西新潟中央病院）

従前どおり、年 1～2 回の市民講演会と地域の薬局を対象とした外来化学療法研修会を開催している。

（佐渡総合病院）

高齢者のがん患者が多いことから、緩和ケアチームが緩和ケア勉強会を実施している。

（２） がんに関わる専門職の配置状況と増員策等について（資料 2）

がんに関わる専門職が増員となった病院について、資料 2 に基づき、以下のとおり、説明があったのち、渡部部会長より、資格取得の動機付けのため、最近、各専門資格を取得した、医師、看護師、薬剤師、認定遺伝カウンセラーから資格を取得した理由や体験談をレクチャーいただく機会を設けてはどうかとの提案があり、審議の結果、承認された。また、各施設にレクチャーの協力依頼をさせていただくため、引き続き協力いただきたい旨の要請があった。

（新潟大学医歯学総合病院）

がん専門薬剤師が 1 名増えているが、特別な取り組みではなく、資格取得者の個人的は意欲によるものである。

(新潟県立がんセンター新潟病院)

がん薬物療法認定看護師・がん化学療法認定看護師が増えているのは、県内の転勤によるもので、認定遺伝カウンセラーについては、資格取得者の意欲によるものである。なお、新潟県では、資格の取得費用の半額が補助され、また、勤務扱いで学ぶことが可能である。

(新潟市民病院)

臨床遺伝専門医が増えているのは、人事の関係であり、がん薬物療法認定薬剤師が増えているのは、資格取得者の意欲によるものである。病院からの資格取得に対する支援やインセンティブはない。

(長岡赤十字病院)

外来がん治療認定薬剤師が増えているのは、診療報酬の加算もあるが、資格取得者の意欲によるものである。なお、認定看護師や認定薬剤師の資格取得者には、給与の上乗せがある。

(長岡中央総合病院)

がん薬物療法認定薬剤師が増えているのは、自主的な希望で資格取得されたものである。資料では1名になっているが、現在2名取得している。インセンティブも費用の補助もない。(部会後に確認した結果、がん薬物療法認定薬剤師は資料のとおり、1名であった)

(魚沼基幹病院)

がん看護専門看護師が増えているのは、たまたま資格取得者が就職してくれたもので、増見込については、3年前から研修を受けている方が今年受験の予定であり、何らかの施策で受験いただくものではない。認定遺伝カウンセラーについては、病院として、がんゲノム医療中核拠点病院に認定されるために、費用を全額補助して、受験いただいている。

(済生会新潟病院)

がん看護専門看護師が増えているのは、国立がん研究センターで勤務していた方(新潟に帰郷)を採用したためである。がん看護専門看護師を採用するのが初めてであるため、現在、インセンティブについて、検討しているところである。

(上越総合病院)

資料の誤りで、特に増えても減ってもいない。

(3) その他

特になし。

令和7年度第1回新潟県がん診療連携協議会研修教育部会 出席者名簿

部 会 員			
病院名	所 属	職 名	氏 名
新潟県立がんセンター 新潟病院	消化器内科	情報調査部長	塩路 和彦
	看 護 部	看護副部長	鈴木 なつき
	薬 剤 部	薬剤副部長	田中 佳美
新潟大学医歯学総合病 院	腫瘍センター(呼吸器・感染症内科)	部 長	渡部 聡
	腫瘍センター(小児科)	副 部 長	畠村 勝
	看護部	看護師長	下鳥 由紀
	薬剤部	副薬剤部長	笹原 浩康
新潟市民病院	消化器外科	副部長 がん診療支援室長	佐藤 大輔
	看 護 部	看護師	三富 弘子
長岡赤十字病院	消化器内科	部 長	吉川 成一
	看 護 部	看護係長	大野 弘美
長岡中央総合病院	看 護 部	看護師	三浦 一二美(代理出席:平澤陽子、横山智美)
新潟県立中央病院	がん相談支援センター	副看護師長	樋口 伸子
新潟県立新発田病院	看 護 部	看護師長(7B)	柏木 夕香
魚沼基幹病院	腫瘍センター 通院治療室、 消化器内科	腫瘍センター 通院治療室長・ 消化器内科部長	阿部聡司
	腫瘍センター 通院治療室、 看護部	外来主任看護師 (がん化学療法看護認定看護師)	小川るり子
済生会新潟病院	消化器内科	副 院 長	横山 純二
	看 護 部	がん薬物療法看護認定看護師	高橋 由美
	薬 剤 部	係長	小竹 泰子
上越総合病院	内 科	副院長	佐藤 知巳
	薬 剤 部		村上 幸恵
国立病院機構 西新潟中央病院	呼吸器外科	特命副院長	渡辺 健寛
	看護部	看護師長	小林 明夏
	薬剤部	調剤主任	佐藤 亜希穂
佐渡総合病院	小児科	医師	岡崎 実

令和7年度第1回 新潟県がん診療連携協議会研修教育部会

1 日 時 令和7年10月8日(水) 16時30分～

2 開催方法 オンライン(Zoom)

3 議 事

(1) 各病院における研修会の実施状況について(資料1)

(2) がんに関わる専門職の配置状況と増員策等について(資料2)

(3) その他

新潟県がん診療連携協議会設置要綱

平成 19 年 10 月 15 日 制定

（設置）

第 1 条 「がん診療連携拠点病院等の整備について」（平成 26 年 1 月 10 日付け健発 0110 第 7 号厚生労働省健康局長通知）に基づき、新潟県がん診療連携協議会（以下「協議会」という。）を設置する。

（目的）

第 2 条 協議会は、県内のがん診療連携拠点病院等以下「拠点病院等」という。）間の連携体制の強化を図るとともに、本県におけるがん医療の均てん化を推進する。

（協議事項）

第 3 条 協議会は次に掲げる事項について協議する。

- （１）地域におけるがん診療連携体制等がん医療に関する情報交換に関すること。
- （２）拠点病院等の院内がん登録のデータの分析、評価等に関すること。
- （３）拠点病院等における研修計画、診療支援医師の派遣調整に関すること。
- （４）地域連携クリティカルパスの整備に関すること。
- （５）拠点病院等での相談支援センターの業務に関すること。
- （６）緩和ケアの運用に関すること。
- （７）がん治療における医科歯科連携に関すること。
- （８）その他協議会で必要と認める事項に関すること。

（構成）

第 4 条 協議会は、次に掲げるものを委員とし、構成する。

- （１）都道府県がん診療連携拠点病院長
- （２）地域がん診療連携拠点病院長
- （３）地域がん診療病院長
- （４）新潟県医師会の代表者
- （５）新潟県歯科医師会の代表者
- （６）新潟県薬剤師会の代表者
- （７）新潟県看護協会の代表者
- （８）医療を受ける立場にある者
- （９）新潟県福祉保健部長

(会長及び副会長)

第5条 協議会に会長副会長を置く。

- (1) 会長は都道府県がん診療連携拠点病院の施設長が務める。
- (2) 副会長は委員の中から会長が指名する。
- (3) 会長は協議会を招集し、議長を務める。
- (4) 会長に事故あるときは、副会長がその職務を代行する。

(部会)

第6条 協議会には、部会を置くことができる。

2 部会の設置、委員の構成、調査検討事項、その他運営事項等は会長が定める。

- (1) 部会長は会長が指名する。
- (2) 部会長は部会を招集し、議長を務める。

(事務局)

第7条 協議会の事務局は都道府県がん診療連携拠点病院内に置き、協議会の庶務を処理する。

(その他)

第8条 この要綱に定めるもののほか、必要な事項は、協議会において定める。

(附則)

この要綱は、平成19年10月15日から施行する。

(附則)

この要綱は、平成28年11月2日から施行する。

(附則)

この要綱は、平成30年7月17日から施行する。

新潟県がん診療連携協議会研修教育部会設置要綱

平成20年 3月25日制定

（設置）

第1条 新潟県がん診療連携協議会設置要綱第6条の規定に基づき、新潟県がん診療連携協議会研修教育部会（以下「部会」という。）を設置する。

（目的）

第2条 部会は、新潟県がん診療連携協議会（以下「協議会」という。）での協議事項を踏まえて、次条に定める事項について検討することを目的とする。

（検討事項）

第3条 部会は次に掲げる事項について検討する。

- （1）研修計画の検討
- （2）診療医師派遣の調整の検討
- （3）専門薬剤師・看護師等の育成の検討
- （4）その他部会で必要と認める事項に関すること。

（構成）

第4条 部会は、次に掲げる者を部会員とし、構成する。

- （1）都道府県及び地域がん診療連携拠点病院担当医師
- （2）都道府県及び地域がん診療連携拠点病院担当職員
- （3）その他部会長が必要と認める者

（部会長及び副部会長）

第5条 部会に部会長及び副部会長を置く。

- （1）部会長は協議会会長が指名する。
- （2）副部会長は部会員の中から部会長が指名する。
- （3）部会長は部会を招集し、議長を務める。
- （4）部会長に事故あるときは、副部会長がその職務を代行する

(事務局)

第6条 部会の事務局は部会長が所属する病院内に置き、部会の庶務を処理する。

(その他)

第7条 この要綱に定めるもののほか、必要な事項は、部会において定める。

(附則)

この要綱は、平成20年 3月25日から施行する。

新潟県がん診療連携協議会 研修教育部会一覧表（令和7年度）

部 会 長	
病院名	新潟大学医歯学総合病院
所 属	腫瘍センター(呼吸器・感染症内科)
職 名	部 長(講師)
氏 名	渡部 聡

部 会 員			
病院名	所 属	職 名	氏 名
新潟県立がんセンター 新潟病院	消化器内科	情報調査部長	塩路 和彦
	看護部	看護副部長	鈴木 なつき
	薬剤部	薬剤副部長	田中 佳美
新潟大学医歯学総合病院	腫瘍センター(小児科)	副 部 長	今村 勝
	看護部	看護師長	下鳥 由紀
	薬剤部	副薬剤部長	笹原 浩康
新潟市民病院	消化器外科	副部長 がん診療支援室長	佐藤 大輔
	看護部	看護師	三富 弘子
長岡赤十字病院	消化器内科	部 長	吉川 成一
	看護部	看護係長	大野 弘美
長岡中央総合病院	腫瘍内科	部 長	小林 由夏
	看護部	看護師	三浦 一二美
新潟県立中央病院	内 科	副院長	船越 和博
	がん相談支援センター	副看護師長	樋口 伸子
新潟県立新発田病院	内科	部長	牧野 真人
	看護部	看護師長(7B)	柏木 夕香
	薬剤部	薬剤師	渡辺 なつみ
魚沼基幹病院	腫瘍センター 通院治療室、 消化器内科	腫瘍センター 通院治療室・ 消化器内科部長	阿部聡司
	腫瘍センター 通院治療室、 看護部	外来主任看護師 (がん化学療法看護認定看護師)	小川るり子
新潟労災病院	歯科口腔外科	部長	松井 宏
済生会新潟病院	消化器内科	副 院 長	横山 純二
	看護部	がん薬物療法看護認定看護師	高橋 由美
	薬剤部	係長	小竹 泰子
立川総合病院	緩和治療内科	主任医長	齋藤 義之
	看護部	看護師長	吉岡 美鈴
柏崎総合医療センター	血液内科	部長	井田 桃里
	看護部	看護師長	横関 泰江
上越総合病院	内 科	副院長	佐藤 知己
	薬剤部		村上 幸恵
国立病院機構 西新潟中央病院	呼吸器外科	特命副院長	渡辺 健寛
	看護部	看護師長	小林 明夏
	薬剤部	調剤主任	佐藤 亜希穂
佐渡総合病院	小児科	医師	岡崎 実

各病院における研修会の実施状況について

がん診療連携協議会研修教育部会

病 院 名	ページ
新潟大学医歯学総合病院	1
新潟県立がんセンター新潟病院	5
新潟市民病院	8
長岡赤十字病院	9
長岡中央総合病院	10
新潟県立中央病院	12
新潟県立新発田病院	14
魚沼基幹病院	15
済生会新潟病院	17
柏崎総合医療センター	20
上越総合病院	21
西新潟中央病院	22
佐渡総合病院	23

新潟大学医歯学総合病院 R6年度がんに関わる研修実績

開催日	内容	対象者	参加人数	備考
2024. 04. 03	471回新潟悪性腫瘍研究会	小児がん診療に携わる医療者	24名	オンライン
2024. 04. 18	上中越非小細胞肺癌がん免疫療法セミナー 特別講演 オブジーボとヤーボイのConcerto 新潟大学医歯学総合病院 呼吸器・感染症内科 医学部准教授 渡部聡先生	医療者	-	
2024. 05. 27	第13回北信越小児がんカンファレンス（日本小児血液がん学会専門医研修 施設群ミーティング）	医師	26名	Web開催
2024. 05. 28	第5回新潟大学医歯学総合病院 小児がん医療センター研修会（院内） 講演 小児がんTo doリストを作りました 新潟大学医歯学総合病院 小児がん医療センター 副部長 今村勝先生	小児がん診療に携わる医療者	15名	ハイブリット
2024. 05. 01	472回新潟悪性腫瘍研究会	小児がん診療に携わる医療者	26名	オンライン
2024. 06. 05	473回新潟悪性腫瘍研究会	小児がん診療に携わる医療者	27名	オンライン
2024. 06. 21	Respiratory Medicine and Infectious Diseases Special Expert seminar for medical intern Special Lecture 肺癌治療と有害事象マネジメント 新潟市民病院 感染症内科・呼吸器内科 科副部長 宮林貴大先生	医療者	-	
2024. 07. 03	474回新潟悪性腫瘍研究会	小児がん診療に携わる医療者	28名	オンライン
2024. 07. 08	肺癌連携セミナー 講演Ⅰ エンハーツのエビデンスと実践—アンチHER2— 新潟大学医歯学総合病院 呼吸器・感染症内科 医学部准教授 渡部聡先生 講演Ⅱ 肺がん診療における病理と臨床の連携 新潟大学大学院医歯学総合研究科 分子・診断病理学分野 教授 大橋瑠子先生	医療者	-	
2024. 07. 20	令和6年度学術講演会 免疫療法の現状と将来について 新潟大学医歯学総合病院 呼吸器・感染症内科 医学部准教授 渡部聡先生	医療者	-	
2024. 07. 22	第14回北信越小児がんカンファレンス（日本小児血液がん学会専門医研修 施設群ミーティング）	医師	24名	Web開催
2024. 08. 07	475回新潟悪性腫瘍研究会	小児がん診療に携わる医療者	18名	オンライン
2024. 8. 19 ～ 2024. 9. 19	患者サロン メンタルヘルスと両立支援について 「病気を抱えながら働く・活動するために。メンタルヘルスの保ち方」 ～両立支援事業についての説明とメンタルヘルセルフケア～ 独立行政法人労働者健康安全機構 新潟産業保健総合支援センター 労働衛生専門職（両立支援） 木村 明子 氏 メンタルヘルス対策・両立支援促進員 米田 睦美 氏	患者・家族・医療者	122回	YouTube配信
2024. 08. 28	Collaboration Webセミナーin 上越 デュアルブロックの流儀—オブジーボ+ヤーボイで目指すPlateauの高み— 新潟大学医歯学総合病院 呼吸器・感染症内科 医学部准教授 渡部聡先生	医療者	-	web
2024. 09. 04	476回新潟悪性腫瘍研究会	小児がん診療に携わる医療者	23名	オンライン
2024. 09. 16	令和6年度新潟大学医歯学総合病院緩和ケア研修会	医師、歯科医師、研修医、看護師、薬剤師等、がん等の診療に携わる全ての医療従事者	11名	

開催日	内容	対象者	参加人数	備考
2024. 09. 18	第6回新潟大学歯学総合病院 小児がん医療センター研修会（院内） 講演 小児がん相談員の役割～CLSの立場から～ 新潟大学歯学総合病院 小児がん医療センター CLS 田村 まどか 先生	小児がん診療に携わる医療者	21名	ハイブリット
2024. 09. 28	第1回新潟ストーリーリハビリテーション講習会	新潟県内のストーリーメイクアに携わる医師・看護師	32名	
2024. 09. 24	肺がんゲノム医療フォーラムin 新潟 県内がんゲノム医療の方向性について 新潟県立がんセンター新潟病院 院長 田中洋史先生	医療者	-	
2024. 09. 30	AZ Lung Cancer Seminar EGFR遺伝子変異陽性肺癌治療のこれからを考える 静岡県立静岡がんセンター 呼吸器内科 医長 村上晴康先生	医療者	-	
2024. 09. 30	第15回北信越小児がんカンファレンス（日本小児血液がん学会専門医研修 施設群ミーティング）	医師	27名	Web開催
2024. 10. 02	肺がんWEBカンファレンスin NIIGATA 2024 再発肺扁平上皮がんの治療戦略を考える 関西大学呼吸器腫瘍内科学講座 准教授 吉岡弘鎮先生	医療者	-	web
2024. 10. 02	477回新潟悪性腫瘍研究会	小児がん診療に携わる医療者	22名	オンライン
2024. 11. 06	478回新潟悪性腫瘍研究会	小児がん診療に携わる医療者	27名	オンライン
2024. 11. 07	Treatment for Elderly Lung Cancer 高齢者治療の光明～テセントリックでVulnerableとフレイルを超える～ 新潟大学歯学総合病院 呼吸器・感染症内科 医学部准教授 渡部聡先生	医療者	-	
2024. 11. 25	第16回北信越小児がんカンファレンス（日本小児血液がん学会専門医研修 施設群ミーティング）	医師	27名	Web開催
2024. 11. 28	第7回新潟大学歯学総合病院 小児がん医療センター研修会（院内） 講演 ドナルド・マクドナルド・ハウス にいがた 役割と利用方法について ドナルド・マクドナルド・ハウス にいがた ハウスマネージャー 稲川欣也様	小児がん診療に携わる医療者	35名	ハイブリット
2024. 11. 30	肺がん医療・疾患啓発のための市民公開講座 肺がんの薬物療法 新潟大学歯学総合病院 呼吸器・感染症内科 医学部准教授 渡部聡先生	医療者	-	
2024. 12. 04	479回新潟悪性腫瘍研究会	小児がん診療に携わる医療者	39名	オンライン
2024. 12. 13	Lung Cancer Seminar Niigata December 肺癌診療におけるAI活用の取り組み 兵庫医科大学病院 呼吸器内科 講師 藤本大智先生	医療者	-	
2025. 01. 08	480回新潟悪性腫瘍研究会	小児がん診療に携わる医療者	25名	オンライン
2025. 01. 11	第6回 新潟県小児がん患者・家族支援研修会 一般演題 ・『高校生年代への学習支援について』 新潟県立がんセンター新潟病院 患者サポートセンター 公認心理師・臨床心理士 川井 智理 先生 ・『小児がん経験者への就労支援について～MSWの取り組み～』 新潟大学歯学総合病院 患者総合サポートセンター 医療ソーシャルワーカー 志田 香奈子 先生 ・『当院における小児脳腫瘍経験者の就学・就労の現状』 新潟大学歯学総合病院 小児科 阿部 咲子 先生 ・『小児がん患者の終末期における在宅療養支援の課題』 新潟県立がんセンター新潟病院 東7病棟 看護師 須藤 由香 先生 ・『小児がん患児のきょうだい支援と復学支援にむけた看護師の関わり』 新潟大学歯学総合病院 西6病棟 看護師 丸山 新奈 先生 ・『CLSとして親やきょうだいを支える ～さまざまな家族のかたち～』 新潟大学歯学総合病院 小児がん医療センター CLS 田村 まどか 先生 特別講演 『病気のある子どもの「きょうだい」の気持ち～子どもが「子ども」でいられるように～』 NPO法人しづたね理事長 清田悠代様	小児がん診療に携わる診療者等	51名	ハイブリッド開催
2025. 01. 27	第17回北信越小児がんカンファレンス（日本小児血液がん学会専門医研修 施設群ミーティング）	医師	29名	Web開催
2025. 02. 05	481回新潟悪性腫瘍研究会	小児がん診療に携わる医療者	24名	オンライン

開催日	内容	対象者	参加人数	備考
2025. 02. 05	第8回新潟大学医学総合病院 小児がん医療センター研修会（院内） 講演 小児がんへの長期的支援活動の必要性と成果 ハートリンク共済 理事・事務局長/ 認定NPO法人ハートリンクワーキングプロジェクト 副理事長 林 三枝 様	小児がん診療に携わる医療者	23名	ハイブリット
2025. 03. 03 ～ 2025. 03. 31	患者サロン 働きながら利用できる制度について 私傷病による休職中の収入確保 独立行政法人労働者健康安全機構 新潟産業保健総合支援センター メンタルヘルス対策・両立支援促進員 酒井 和美 氏	患者・家族・医療者	92回	YouTube配信
2025. 03. 03	第4回新潟小児悪性腫瘍研究会学術集会	小児がん診療に携わる医療者	59名	ハイブリット
2025. 03. 05	482回新潟悪性腫瘍研究会	小児がん診療に携わる医療者	25名	オンライン
2025. 03. 24	第18回北信越小児がんカンファレンス（日本小児血液がん学会専門医研修 施設群ミーティング）	医師	23名	Web開催

令和6年度 新潟大学医歯学総合病院 がん関連研修-看護部門-

1. 令和6年度実績

□公開研修

実施なし

□ 院内研修

1) 学研e-ラーニング受講

開催日時	研修名	講師	研修 受講者数
令和6年 4月1日～ 3月31日	AB2402-a がん薬物療法の基礎	坪谷 綾子氏 昭和大学 薬学部 病院薬剤 学講座 講師	127
	AB2402-b 代表的な抗がん薬の特 徴: 殺細胞性抗がん薬		114
	AB2402-c 代表的な抗がん薬の 特徴・分子標的薬・免疫チェックポ イント阻害薬		108
	AB2402-d 抗がん薬投与中の管 理と生活支援の実際		101
令和6年 4月1日～ 3月31日	CJ2452 AYA 世代における思春期 のがん患者への ACP 実践から学 ぶ	多田羅 竜平 氏 大阪市立総合医療センター	62

2) キャリア開発支援研修

令和6年12 月6日、令 和7年1月 17日、令和 7年2月14 日	<p>専門領域別研修: シリーズがん看護研修 〈研修目標〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・がんに関する基礎知識、薬物療法、緩和ケア等の知識を習得する ・症状マネジメントの実践力を強化する ・意思決定支援及び多職種と連携する力を養う <p>上記の研修目標に関する講義及びグループワークの実施</p>	がん看護専門看護師、 化学療法認定看護師、 緩和ケア認定看護師(当院)	8名
---	--	---	----

2024年度

研修会・講演会等スケジュール - がんセンター新潟病院 教育企画委員会まとめ -

	年月日	名称	会場	主催者	演者	対象者	実績
1	令和6年6月5日(水)～7月5日(金)	令和6年度 第1回 医療安全必須研修「医療安全概論」	Web+テスト	医療安全管理対策委員会	SONPOリスクマネジメント(株) 医療・介護コンサルティング部	全職員	737人
2	令和6年6月14日(金) 14:30～15:30	令和6年度 医療安全管理対策委員会「転倒・転落研修会」	ネットワーク室	医療安全管理対策委員会 リスクマネジメント部会 転倒・転落WG	脳神経外科医師 高橋 英明	全職員	38人
3	令和6年6月17日(月) 17:30～19:00	第1回院内講演会 「免疫チェックポイント阻害薬のirAEに関して」	講堂	教育企画委員会	内科部長 三浦 理 内科部長 大倉 裕二 内科医師 谷 長行	全職員	70人
4	令和6年6月28日(金) 16:00～16:30	勉強会「ハイフローネーザルカニューラ(HFNC)初級編」	講堂	医療安全管理対策委員会 リスクマネジメント部会 医療機器・診材WG	医療機器中央管理室 臨床工学士 佐藤時央・星力央・今井大智	看護師	19人
5	令和6年7月31日(水)、 8月21日(水)、9月18日(水) 17:30～18:30	第1回輸血講演会 「安全な輸血医療の基礎知識」	Web視聴 (3日間) DVD視聴 (8月～10月)	輸血療法委員会	新潟県赤十字血液センター 事業推進部 学術情報・供給課 医薬情報担当者 瀬水 悠花	全職員	330人
6	令和6年8月1日(木) 15:00～15:45	令和6年度医療安全研修 「麻薬管理と安全使用」	講堂	医療安全管理対策委員会 リスクマネジメント部会 誤薬WG	薬剤部長 青柳 和代	全職員	31人
7	令和6年7月24日(水)～8月30日(金)	令和6年度 第1回 感染防止対策研修 「劇症型溶血性レンサ球菌感染症・レジオネラ症」	書面+テスト	感染防止対策委員会	ICT看護師 梅澤 美鈴	全職員	725人
8	令和6年9月2日(月)～12月27日(金)	就労支援に関する院内研修会	Web	患者サポートセンター	主査(MSW) 上山 裕美	全職員	137人
9	令和6年9月25日(水) 17:30～19:00	第2回院内講演会 「妖怪人間ベムは永遠に笑わない～生きる意味は間(あわい)に～」	講堂・Zoom	教育企画委員会	京都大学大学院 人間・環境学研究科 研究員 佐藤 泰子	全職員	会場40人 Zoom20人
10	令和6年9月28日(土) 13:30～16:55	新潟県がん相談支援センター 相談員研修会	Zoom	患者サポートセンター	独立行政法人労働者健康安全機構 大阪ろうさい病院がんセンター 乳がん看護認定看護師 濱沢智美	がん診療連携拠点 病院等の相談員 県外の相談員	26人 (県外参加10人)

	年月日	名称	会場	主催者	演者	対象者	実績
11	令和6年10月9日(水) 16:30～17:05	令和6年度在宅医療研修会 「乳がんの診断と治療」	Zoom	患者サポートセンター	乳腺外科部長 金子耕司	新潟市内の訪問看護事業所などの勤務する看護師	40人
12	令和6年10月10日(木)	令和6年度 診療放射線の安全利用の研修	書面	放射線安全委員会	主任診療放射線技師 菅原 大介	医師、放射線業務従事者	196人
13	令和6年10月22日(火) 16:30～17:10	令和6年度情報セキュリティ講習会	講堂・Zoom	情報システム検討委員会	経営課 事務職員 木山 剛	全職員	会場30人 Zoom10人
14	令和6年10月23日(水) 16:15～17:10	令和6年度在宅医療研修会 「乳がんの再発・転移後の症状看護」	Zoom	患者サポートセンター	乳腺外科病棟 看護師 宮尾友美	新潟市内の訪問看護事業所などの勤務する看護師	31名 看護師11名
15	令和6年10月25日(金) 17:45～18:45	令和6年度 がん拠点病院放射線治療研修会「当院における前立腺IMRT用固定具についての検討」「動体追尾照射を用いた体幹部定位照射について」「放射線治療と漢方」	講堂・Zoom	放射線安全委員会	放射線治療科部長 鮎川 文夫 放射線治療科部長 田中 研介 主任診療放射線技師 山崎 禎則	全職員	会場27人 ZOOM4人
16	令和6年11月7日(木) 17:30～18:30	学習会 「HBOC診療の現状と課題 乳腺外科の立場から」	ハイブリッド	がんゲノム医療センター	乳腺外科部長 金子耕司	全職員	40人
17	令和6年11月8日(水) 14:15～14:45	令和6年度医療安全研修会「インスリン学習会」	講堂	医療安全委員会 患者確認・検査・インスリンWG	内科医師 谷 長行	全職員	28人
18	令和6年11月29日(金) 17:30～18:30	第3回院内講演会 「当院の遺伝医療の実際と課題」 「新潟大学医歯学総合病院での遺伝子カウンセリング」	講堂	教育企画委員会	臨床部長 菊池 朗 遺伝看護専門看護師 三冨 亜希 新潟大学医歯学総合病院遺伝医療センター 認定遺伝カウンセラー 栗山 洋子	全職員	50人
19	令和6年12月19日(木) 17:30～18:30	学習会 「遺伝性大腸がんにおける診療の実際と課題」	ハイブリッド	がんゲノム医療センター	消化器外科部長 野上仁	全職員	23人
20	令和7年2月12日(水) 14:00～15:00	いやしの会	講堂A	患者サポートセンター	主任(臨床心理士・公認心理士) 川井 智理	患者・患者家族	2人

	年月日	名称	会場	主催者	演者	対象者	実績
21	令和7年2月13日(木) 16:00～17:00	第6回高齢者総合評価講演会 (CGA要件研修)	講堂・Zoom	サポートケア委員会	厚生連高岡病院 総合診療科・感染症内科 診療部長 狩野 恵彦 緩和ケア内科部長 中島 真人	全職員	会場45人 +YouTube
22	令和7年2月26日(水)	勉強会「人工呼吸器について」	講堂	医療安全管理対策委員会 リスクマネジメント部会 医療機器・診材WG	医療機器中央管理室 臨床工学士 佐藤時央・星力央・今井大智	全職員	24人
23	令和7年2月28日(金) 17:30～18:30	第45回 令和6年度 いのちをめぐる連続講演会 「傾聴とキリスト教」	講堂・Zoom	サポートケア委員会	日本聖公会中部教区 新潟聖パウロ教会 司祭 石田 雅嗣	全職員、入院患者	会場25人 +YouTube
24	令和7年3月3日(月) 17:20～18:20	第2回輸血講演会 「血液型の基礎と緊急輸血」 「超緊急輸血劇場～東7病棟で超緊急輸血!?～」	講堂・Zoom	輸血療法委員会	認定輸血検査技師 見邊 典子 学会認定・臨床輸血看護師 岡部 卓也	全職員	42人
25	令和7年3月6日(木) 18:30～19:50	令和6年度 地域医療連携講演会 「頭頸部がんのA to Z～地域連携において～」 「がん専門病院における大腸がん治療のいま」	Zoom	患者サポートセンター	頭頸部外科部長 山崎 恵介 消化器外科部長 丸山 聡	地域医療関係者、 全職員	53人
26	令和7年3月8日(土) 13:00～15:00	第42回県立がんセンター新潟病院 集談会 テーマ「当院の地域への貢献」	講堂	がんセンター	患者サポートセンター副センター長 松井 園子 副看護師長 金安 めぐみ 主任看護師 佐藤 江里奈 主任看護師 加茂 麻由子 薬剤科長 大塚 周 主任診療放射線技師 長 和広 主任診療放射線技師 中川 雄介	全職員	40人
27	令和7年3月27日(木) 17:30～18:15	学習会 「がん領域における遺伝医療の 実際～ 遺伝子パネル検査について学 ぶ(検査科の立場から)～」	Zoom	がんゲノム医療センター	病理遺伝子検査部門 主任臨床検査技師 畔上 公子	全職員	20人

R6年度 研修会実施状況一覧(新潟市民病院)

◎新潟医療圏におけるがん診療に携わる医療者に対する研修セミナー

開催日	講 師	参加者	講演内容

◎がん関連市民公開講座

開催日	講 師	参加者	講演内容
令和6年10月15日	消化器外科 亀山仁史医師	36名	「大腸がん診療の最前線」

◎拡大がんサバード

開催日	演者	参加者	演題
令和6年5月28日	森川 香子 (産婦人科)	27名	アドバンスケアプランニングを意識して関わった患者さんとのものがたり
令和6年7月23日	佐藤 雄大 (薬剤部)	13名	パニツムマブによる皮膚障害と対策 ～外用剤のアドヒアランスについて～
令和6年8月27日	森川 祐宇・阿部 徹哉 (呼吸器内科)	11名	がん薬物療法に伴う薬剤性肺障害の検討
令和6年10月25日	中山 遥子・村井 志乃 (脳神経外科)	22名	高齢独居の肺癌患者の脳転移に対する対応について
令和6年10月29日	河久 順志 (消化器内科)	17名	切除不能S状結腸癌の1症例 患者・家族との関わりに苦悩した3年1ヶ月間
令和6年12月3日	森川 祐宇 (呼吸器内科)	38名	骨転移を有する原発性肺癌合併 妊娠19週36歳初産の症例について
令和7年2月5日	高田 佳之 (歯科口腔外科)	6名	当院における癌治療と周術期口腔機能管理の実績と今後の展望
令和7年3月25日	松山 洋 (耳鼻咽喉科)	13名	甲状腺乳頭癌の郭清範囲内再発に対して摘出術を施行した3例

◎新潟市民病院がん診療に携わる医療者に対する緩和ケア研修会

開催日	修了者
令和6年10月6日	16名

長岡赤十字病院 令和6年度 がん関連研修会

開催日時	研修名	講師	対象	参加人数
2024/6/23	がん医療に携わる医療者のための 緩和ケア研修	院内・院外 講師多数	がんに関連する職員 地域の医療関係者	3 5 名 (院内 7 名、院外 2 8 名)
2024/9/5	がん性疼痛の緩和 ～オピオイド活用のポイント～	長岡赤十字病院 薬剤師 近藤 裕也	職員、地域の医療関係者	7 4 名 (院内 4 4 名、院外 3 0 名)
2024/11/1	抗癌剤をいつやめるか？どうやめる か？～がん治療医もできる ACP～	日本医科大学武蔵小杉病院 腫瘍内科 教授 がん薬物療法専門医 勝俣範之先生	職員、地域の医療関係者	9 5 名 (院内 5 5 名、院外 4 0 名)

看護部門

開催日	研修名	講師	対象職種	参加人数
2024/7/30	抗がん剤の安全な投与管理	当院がん化学療法認定看護師	院内看護師	2 5 名
2024/12/10	病状説明時の看護に必要な基礎知識	当院がん看護専門看護師	院内看護師	2 0 名

長岡中央総合病院

1. 2024 年度 院内がんセミナーの開催状況

1) 対象者：全職員

2) 開催内容

2024 年	テーマ	講師	会場参加人数 (名)	ZOOM 参加 (名)	web 閲覧数 (回) (2025 年 6 月 4 日現在)
4 月 8 日	化学療法オーダー入力のお約束	薬剤師)佐藤 康	10	0	20
5 月 13 日	大腸がん治療の基本	腫瘍内科)小林由夏	24	0	128
6 月 10 日	胃切除を受けた方の食事	栄養科)石原 到	14	184	184
7 月 8 日	尿路上皮がんの治療について	泌尿器科)高橋英祐	20	講師意向で 配信なし	
8 月	休み			0	-
9 月 9 日	ゲノム医療について	腫瘍内科)小林由夏	35	0	46
10 月 7 日	安心して治療するために	医療相談室)大倉利江子	16	0	65
11 月 11 日	休み				-
12 月 9 日	がん診療における放射線療法の役割	放射線治療科)阿部英輔	28	0	8
1 月 20 日	胃がんの治療について	腫瘍内科)小林由夏	8	zoom(9 名) (薬局 9 件)	20
2 月 10 日	わが国の肝がんの特徴とその治療	消化器内科)高村昌昭	13	0	6
3 月 11 日	乳がんについて	外科)長谷川 潤	15	5	18

文責：看護部 三浦一二美 (2025 年 6 月 4 日記載)

長岡中央総合病院

2. 2024 年度 地域の医療従事者への研修（がん領域のみ抜粋）

開催日	研修会名	講師	参 加 人数	参加人数		
				院内	院外	合計
R6.7.29	胃切除後の食事について	栄養科長 石原 到	165	0	165	165
R6.8.26	大腸がん治療の基本	腫瘍内科部長 小林由夏医師	120	0	120	120
R6.10.28	がんゲノム医療について	腫瘍内科部長 小林由夏医師	87	0	87	87
R6.11.27	安心して治療するために～がん患者さんを支える制度～	医療ソーシャルワーカー	49	0	49	49
R6.12.25	アピアランス（外見）ケアについて	がん看護専門看護師	55	0	55	55
R7.1.29	胃がんの治療について	腫瘍内科部長 小林由夏医師	96	0	96	96

文責：看護部 三浦一二美（2025 年 7 月 14 日記載）

令和 6 年度 研修会実施状況

新潟県立中央病院

1.市民がん公開講座

・第 14 回 市民がん公開講座「がん化学療法の最前線」 参加者:79 名

2.緩和ケア研修会(がん診療に携わる医師に対する緩和ケア研修会の開催指針に準拠)

開催日	参加人数
10 月 20 日	18 名

3.がんサロン 主催:患者サポートセンター・がん相談支援センター

研修会名	開催日	参加人数	対象者
がんところの向き合い方	7 月 29 日	中止	がんに関心のある方-
がんの痛みについて～痛み止めについて正しく理解しよう～	9 月 30 日	7 名	
がん療養中の生活を支える社会制度と社会資源	11 月 25 日	7 名	

4.がん学習会 主催:患者サポートセンター・がん相談支援センター

研修会名	開催日	参加人数	対象者
がん相談支援センターのご案内(動画視聴)	9 月(1 か月)	290 名	全職員
早期乳がん ラジオ波焼灼療法について	2 月 3 日	30 名	外来, 病棟, 手術室, 放射線科

5.緩和ケア学習会 主催:緩和ケア委員会

研修会名	参加人数	対象者	備考
がん疼痛コントロール～オピオイド鎮痛薬を中心に～	332 名	院内職員	PDF 閲覧
アドバンスケアプランニング	17 名	緩和ケア委員	

6.化学療法学習会 主催:抗腫瘍安全推進委員会

研修会名	開催日	参加人数	対象者
免疫関連有害事象(irAE)事例集 -モデルケースを学ぼう-	9 月 26 日	33 名	院内職員
膀胱癌の治療の現況 -薬物療法を中心に-	11 月	24 名	

7.がん看護専門研修 主催:看護部

研修会名	参加人数	開催日	対象者	備考
1.がん看護学概論	44 名	10月1日 ～12月31日	看護部全職員	動画形式閲覧 (ナースィング スキル)
2.緩和ケア				
3.がん手術療法看護				
4.がん放射線療法の看護				
5.がん薬物療法の看護				
6.家族ケア				

8.カンサーボード 主催:がん相談支援センター運営委員会

テーマ	担当科	開催日	対象者
結腸癌腎浸潤にて腎部分切除術(結腸と合併切除)を施行した一例	泌尿器科	4月22日	院内職員
多発骨転移をきたした原発不明がんの一例	耳鼻咽喉科	5月27日	
胸腺癌完全切除後の術後療法についての検討	呼吸器内科	6月24日	
免疫チェックポイント阻害剤を用いた術前化学療法を施行した乳腺化生癌の2例	外科	7月22日	
心臓原発の悪性腫瘍疑い 確定診断のための生検方法および治療方針の検討	循環器内科		
悪性リンパ腫治療後の経過観察中に発症した高齢進行上顎歯肉癌症例について	口腔外科	8月26日	
脳転移をきたした子宮頸部腺癌の一例	婦人科	9月30日	
肝転移を伴った胃癌と大腸癌の重複癌の一例	消化器内科	10月28日	
気道狭窄を伴った進行がんに対して放射線治療を施行した2例	放射線治療科	11月26日	
胃癌コンバージョン手術	外科	12月23日	
二重特異性抗体 Elranatamab を使用した再発・難治性多発骨髄腫の2例	血液内科	1月27日	
前立腺癌と肺小細胞癌の重複癌による多発リンパ節転移の一例	泌尿器科	2月17日	
口蓋扁桃からの生検で悪性中皮腫が疑われた一例	耳鼻咽喉科	3月24日	

令和6年度 がんに係る研修会実施状況

開催日	名称	場所	内容	備考
令和6年10月5日	新潟県緩和ケア研修会	県立新発田病院 5F大会議室	がん診療に携わる医師に対する緩和ケア研修会の開催指針（平成29年12月1日付健発1201第2号厚生労働省健康局長通知）及び「新潟県緩和ケア研修会（単位型）標準プログラム」に準拠したもの	参加者 18人
令和7年2月3日	がん診療委員会院内講演会	県立新発田病院 5F大会議室	「胃がん、大腸がんに対する化学療法の概要」 講師 外科 角田 知行	参加者 31人
令和7年2月13日	第179回 新発田病院公開講座	県立新発田病院 5F大会議室	「臨床研修医による研修結果発表」 司会 教育研修センター長 長谷川 聡	参加者 25人
令和7年3月3日	がん診療委員会院内講演会	県立新発田病院 5F大会議室	「食道がんについて」 講師 消化器内科 佐々木 俊哉	参加者 35人

令和6年度 魚沼基幹病院 - がんに関する研修会・講演会等の実施状況

腫瘍センター

No	日付	会場	内容	対象	講師	主催	参加者数	備考
1	令和6年9月18日(水)	オンライン	魚沼圏域自殺予防研修会	居宅介護支援事業所、地域包括支援	腫瘍センター		75	
2	令和6年10月16日(水)	講堂・多目的ホール及びオンライン	がん診療に関する勉強会	がん診療に携わる者	院内講師	腫瘍センター	41	
3	令和6年11月21日(木)	講堂・多目的ホール及びオンライン	がん診療に関する勉強会	がん診療に携わる者	院内講師	腫瘍センター	23	
4	令和6年12月10日(火)	講堂・多目的ホール及びオンライン	がん診療に関する勉強会	がん診療に携わる者	院内講師	腫瘍センター	11	

緩和ケア室

No	日付	会場	内容	対象	講師	主催	参加者数	備考
5	令和6年8月25日(日)	講堂・多目的ホール	がん等の診療に携わる医師等に対する緩和ケア研修会	がん診療に携わる者	院内講師	緩和ケア室	19	
6	令和6年9月4日(水)	院内会議室	・「生活のしやすさに関する質問票」の使い方 ・がん相談支援センターについて	看護師	院内講師	緩和ケア室	10	

がん相談支援センター

No	日付	会場	内容	対象	講師	主催	参加者数	備考
7	令和6年5月27日(月)	講堂・多目的ホール	がん患者サロン ミニ講演「副作用による脱毛ケアと、当院の理髪室でできること」	がん患者・家族・経験者など	院内講師	がん相談支援センター	9	
8	令和6年9月8日(日)	講堂・多目的ホール	がん患者サロン ミニ講演「がん治療を続けるために ～活用できる障害年金制度について～」	がん患者・家族・経験者など	南木社会保険労務士事務所	がん相談支援センター	11	
9	令和6年11月24日(日)	講堂・多目的ホール	がん患者サロン ミニ講演「当院における乳がん治療について」	がん患者・家族・経験者など	院内講師	がん相談支援センター	22	
10	令和7年3月9日(日)	講堂・多目的ホール	がん患者サロン ミニ講演「こころの栄養・身体の栄養」	がん患者・家族・経験者など	院内講師	がん相談支援センター	16	

令和6年度 魚沼基幹病院 - がんに関する研修会・講演会等の実施状況

看護部

No	日付	会場	内容	対象	講師	主催	参加者数	備考
11	令和6年9月25日(水)	多目的ホール	放射線性皮膚炎とケア	看護師	青木瞳	専門・認定 看護師会	7	
12	令和6年9月12日(木)	多目的ホール	がん化学療法看護スキルアップ研修 第1回「基礎編①」	卒2年目以上の看護職員	小川るり 子	看護部化学 療法委員会	5	
13	令和6年10月8日(火)	多目的ホール	がん化学療法看護スキルアップ研修 第2回「基礎編②」	卒2年目以上の看護職員	小川るり 子	看護部化学 療法委員会	7	
14	令和6年11月12日(火)	多目的ホール	がん化学療法看護スキルアップ研修 第3回「過敏症」	卒2年目以上の看護職員	小川るり 子	看護部化学 療法委員会	11	
15	令和6年12月12日(木)	多目的ホール	がん化学療法看護スキルアップ研修 第4回「血管外漏出」	卒2年目以上の看護職員	小川るり 子	看護部化学 療法委員会	7	
16	令和7年1月17日(金)	多目的ホール	がん化学療法看護スキルアップ研修 第5回「日常生活の注意 点」	卒2年目以上の看護職員	小川るり 子	看護部化学 療法委員会	7	
17	令和6年6月18日 (火) 20日 (木)	講堂	卒2研修 がん化学療法看護	臨床経験2年目看護師、 他	小川るり 子	看護部教育 委員会	40	
18	令和6年7月11日(木)	東7	卒1研修 がん化学療法看護 (内服編)	臨床経験1年目看護師	小川るり 子	看護部教育 委員会	19	

研修会実施状況一覧(令和 6 年度)(済生会新潟病院①)

< 抗がん剤 IV ナース関連（化学療法委員会・看護部共同開催） >

開催日	研修名	内 容（敬称略）	参加人数
2024 年 11 月 14 日	抗がん剤 IV ナース認定講習会	■院内認定資格「抗がん剤 IV ナース（化学療法施行時の末梢静脈ルート確保及び中心静脈ポートへの点滴路確保院内認定看護師）」取得のための講習会 講師：外科医師、皮膚科医師、薬剤師、抗がん剤 IV ナース指導者、がん薬物療法看護認定看護師	9 名
2024 年 8 月 6 日 12 月 3 日	がん剤 IV ナース資格者研修	■抗がん剤 IV ナース資格取得後の継続教育のための研修 受講対象者：前年度に抗がん剤 IV ナース資格を取得した者、抗がん剤 IV ナース更新年にあたる者 内容：CV ポートに関するテスト・事例検討、末梢静脈投与の化学療法での血管アセスメントと投与管理についての事例検討 講師：抗がん剤 IV ナース指導者、がん薬物療法看護認定看護師	計 22 名
2024 年 9 月 20 日	抗がん剤 IV ナース指導者育成研修	■院内認定資格「抗がん剤 IV ナース指導者」取得のための研修 受講対象者：抗がん剤 IV ナース資格を 1 回以上更新し、かつ既定の経験を有しており、指導者として活動する意志のある者 内容：CV ポートのトラブルシューティング（講義）、CV ポートならびに末梢静脈投与の化学療法について抗がん剤 IV ナースへの指導方法の検討（グループワーク、ロールプレイ） 講師：院外講師、抗がん剤 IV ナース指導者、がん薬物療法看護認定看護師	4 名

< 化学療法委員会主催勉強会 >

・開催なし

<看護部（化学療法分野）>

開催日	研修名	内 容（敬称略）	参加人数
2024 年 11 月 8 日	クリニカルラダー レベルⅠ 【看護実践能力】危険薬（抗がん剤）	■血管外漏出、過敏症、インフュージョンリアクション、曝露対策（講義、演習） 講師：がん薬物療法看護認定看護師 高橋 由美 院内認定看護師（がん薬物療法分野）	22 名
2024 年 5 月 9 日	クリニカルラダー レベルⅡ 【看護実践能力】がん化学療法看護	■がん薬物療法の基礎知識（eラーニング視聴） 当院の化学療法について、化学療法における看護のポイント（講義） 講師：がん薬物療法看護認定看護師 高橋 由美	26 名
2024 年 12 月 14 日	認定看護師主催 ナース講習会 「がん化学療法看護」	■化学療法の投与管理のポイント、レジメンのアセスメント、 副作用対策（骨髄抑制、悪心・嘔吐、脱毛、末梢神経障害、皮膚障害など） 講師：がん薬物療法看護認定看護師 高橋 由美	8 名 (院内 3 名、 院外 5 名)

研修会実施状況一覧(令和 6 年度)(済生会新潟病院②)

開催日	研修名	内 容 (敬称略)	参加人数
2024 年 5 月 31 日 (金)	緩和ケア/認知症ケア講演会	テーマ：『高齢者のエンド・オブ・ライフ・ケア』 講師：青梅慶友病院 看護部長/老人看護専門看護師 桑田美代子先生	現地 55 名 WEB54 名
2024 年 9 月 14 日 (土)	第 15 回 済生会新潟緩和ケア研修会	がん等の診療に携わる医師等に対する緩和ケア研修会の開催指針（平成 29 年 12 月 1 日付健発 1201 号第 2 号厚生労働省健康局長通知の別紙）に準拠した研修会	26 名
2024 年 9 月 27 日 (金)	看護部教育委員会主催 クリニカルラダーⅢ 入退院支援	テーマ『ACP』 講師：済生会新潟病院 緩和ケア認定看護師 平澤和美	7 名
2024 年 11 月 9 日 (土) 11 月 10 日 (日)	ELNEC-J コアカリキュラム看護師教育プログラム in さいせいかい 2024	日本緩和医療学会 ELNEC - J コアカリキュラム WPG が定めた ELNEC - J コアカリキュラム看護師教育プログラムの開催指針に準拠した研修会	9 名
2024 年 12 月 5 日 (木)	認定看護師による出前研修 黒崎病院	テーマ：『終末期における患者・家族ケア』 講師：済生会新潟病院 緩和ケア認定看護師 平澤和美	46 名
2024 年 7 月 26 日 (金)	看護部教育委員会主催 クリニカルラダーⅢ 緩和ケア	テーマ：『緩和ケア～アセスメントを活かして実践してみよう』 講師：済生会新潟病院 がん性疼痛看護認定看護師 此村奈都美	12 名
2024 年 12 月 6 日 (金)	看護部教育委員会主催 クリニカルラダーⅠ 入退院支援	テーマ『ACP』 講師：済生会新潟病院 緩和ケア認定看護師 平澤和美	9 名
2025 年 2 月 13 日 (金)	看護部教育委員会主催 クリニカルラダーⅡ 入退院支援	テーマ『ACP』 講師：済生会新潟病院 緩和ケア認定看護師 平澤和美	14 名

◆市民向け

開催日	研修会名	講師	対象者	参加人数
実績なし				

◆医療者向け：緩和ケア勉強会

開催日	研修会名	講師	対象者	参加人数
令和6年 12月27日	看護師だから出来る緩和ケアについて 話し合ってみよう	看護部緩和ケア 学習グループ	看護部緩和ケア 委員	10名
令和7年 2月13日	グリーフケアとエンゼルケア	看護部緩和ケア 委員会	新人看護師	18名

◆カンサーボード：化学療法委員会小委員会

開催日	研修会名	講師	対象者	参加人数
令和6年 4月10日	免疫チェックポイント阻害薬使用中に 1型糖尿病を発症した症例	薬剤部	・化学療法委員 会メンバー ・研修医	11名
令和6年 6月12日	ダカルバジン出荷停止によるホジキン リンパ腫の治療選択に影響が出た一例	血液内科	〃	10名
令和6年 8月14日	粘液産出性肺腺癌と子宮頸癌の重複癌 の診断に難渋した一例	呼吸器内科	〃	10名
令和6年 10月9日	肝切除後の病理診断でclear cell hepatocellular carcinoma(CC-HCC)の 診断に至った一例	消化器内科	〃	7名
令和6年 12月11日	乳癌サブタイプと生存率について	外科	〃	9名

外来がん化学療法連携充実加算 薬局向け研修会 実施記録

2025 年 4 月 1 日

研修内容

【当院における化学療法およびレジメン等の解説】

“当院の外来がん治療における薬剤師の役割と上越地域における薬薬連携を考える”

上越総合病院 薬剤部 外来がん治療認定薬剤師 山岸良寛

YouTube を利用した限定配信にて実施

配信日時；2025 年 3 月 3 日(月) ～ 2025 年 3 月 28 日(金)

申込期間；2025 年 2 月 18 日(火) ～ 2025 年 3 月 7 日(金)

対象：上越市内と近隣の市町村の保険薬局に勤務されている薬剤師

参加費：無料

参加薬局 24

再生視聴回数 49 回

2024 年度 研修実績

研修・講演名称	開催日	人数	内容
市民講演会（病院祭）	7/7	24 人	①肺がんの薬物療法
第 32 回肺がん治療センター市民講演会	9/28	13 人	①肺がん診療ガイドラインの解説 ②緩和ケアってどんなケア？ ③がん治療とセルフケア～がん治療の上手な付き合い方
外来化学療法研修会（オンデマンド配信）	2/3～ 2/7	31 人	①免疫チェックポイント阻害剤と免疫関連有害事象
第 33 回肺がん治療センター市民講演会	3/22	29 人	①ここまで進歩した肺がんの薬物療法 ②肺がん転移に立ち向かう最新放射線治療

令和6年度 研修会実施状況

佐渡総合病院

研修会名	開催日	講師	参加者数
2024年度佐渡総合病院緩和ケア研修会 （「がん等の診療に携わる医師等に対する緩和ケア研修会の開催指針」に準拠したもの）	令和6年9月14日（土）	院内・院外講師	院内：17名
新潟緩和ケア勉強会2024	令和6年11月8日（金）	①佐渡総合病院 産婦人科医長 小池公美 医師 ②埼玉県立がんセンター 緩和ケア科科長 余宮きのみ 医師	Zoom：74名 会場：51名

医療機関名	日本臨床腫瘍学会 がん薬物療法専門医 昨年度アンケート時 →R7.8時点(今年度の増加見込)	日本人遺伝学会 臨床遺伝専門医	がん看護専門看護師	がん薬物療法認定看護師 または がん化学療法認定看護師	日本臨床腫瘍学会 外来がん治療認定薬剤師	日本医療学会 がん専門薬剤師	日本病院薬剤師会 がん薬物療法認定薬剤師	日本人遺伝学会 及び 日本遺伝カウンセリング学会 認定遺伝カウンセラー	昨年度の研修教育部会以降、実施した専門薬剤師及び専門看護師等の増員策について、教えてください。	今後、専門薬剤師及び専門看護師等を増員させるためには、どのような策が必要と考えますか。	その他備考等
新潟県立新発田病院	0→0	0→0	1→3	1→1	0→0	2→1	1→0	0→0	個別の動誘	県立病院は資格が取得しにくい環境ではある。また、資格取得者であっても転勤が避けられず、資格を活用できる病院にいられるとは限らない。現時点では策があまり浮かびません。	
新潟県立がんセンター新潟病院	3→3(0)	2→1(0)	5→3(0)	1→2(0)	0→0(0)	4→4(0)	2→2(0)	0→0(1)	《専門薬剤師》 新たに実施した策はありませんが、現在も複数名が、がん専門薬剤師の認定を目指しており、指導薬剤師、専門薬剤師の指導の下これまでと同様に業務を通じた研修を行っています。今後2〜3年内に数名の新たな認定者を輩出させたいと考えています。また、すでに認定取得している人員は今後も更新していく予定です。	《専門薬剤師》 ・研修施設および研修生派遣施設における薬剤師数の充実(通常業務において人員が不足している状況では研修事業の実施は困難) ・認定に必要な単位取得のための学会参加費、研修会参加費等に関する経済的支援 ・定取得者に対する、給与面での優遇 《専門看護師》 ・専門看護師等の活動を可視化し、役割や成果を発信できる場の整備 ・看護管理者が意識的に職員を動機づけし推薦する	《専門薬剤師》 研修事業は医療機関に大きな負担が強いられます。有資格者の在籍が必須となる診療報酬上の要件は現在でも一部ありますが、これがさらに拡大されれば、11で回答したような策が実現可能となり、有資格者の増員に繋がるのではないかと考えます。
新潟大学医学部総合病院	5→3	9→9	3→3	2→2	4→3	2→3	1→0	2→2	看護師:①緩和ケアチームによる基本的緩和ケア実践・意思決定支援の充実に向けた部署支援及び緩和ケア研修会(PEACE)の開催。②がん専門看護師・緩和ケア認定看護師による院内看護師を対象としたシリーズがん看護研修(全3回) これらの部署支援や研修を通し、有資格者の実践の共有や個々の看護師の資格取得への関心を得られる機会としている。 薬剤師:特になし	看護師:今年度は、専門的資格の取得や後進育成に関する課題について、看護部管理室、看護師長会、認定専門看護師会で共有の機会が設けられ、課題解決に向けた体制整備の検討が進められている。認定専門看護師会では、後進育成の促進や専門性の高い看護師間の連携強化及び活性化、また院内外における役割発揮などを目的とし、組織化を図り体制整備を進めている段階である。 薬剤師:病院での研修費用の負担や、給料への反映が必要。また、資格取得者に経験談をお話いただく動機付けにつながるのではないかと。	
新潟市民病院	3→3(不明)	2→4(不明)	0→0(1)	1→1(0)	2→2(0)	0→0(0)	1→2(1)	0→0(1)	薬剤師:特になし 看護師:①緩和ケアチームの病棟協力看護師を新たに5名追加。②緩和ケア研修会を緩和ケアチーム主体とし、看護師の参加を促している。 ③がん看護研修を昨年度より、エキスパート養成コースに変更し、前後期で行っており、今年度も継続中。 認定・専門看護師連絡会議でも、自分たちの活動をアピールし、次世代への働きかけを行っている。	薬剤師:現在行っている事として入職時点での興味や方向性を確認し、“がん関連”に興味がある場合は、2年目からは関連業務や関連病棟で携われるような配置を検討している。“がん関連”に興味があるスタッフには、早い段階から認定を考慮しての業務、学会参加・学会発表などを行えるよう、環境を整える策が必要と考えます。 看護師:①看護職員を確保すること ②資格取得により病院側のメリットがあること ③資格取得の目的が明確であり、処遇面で配慮があること ④資格取得について計画的に行うこと、またそのための人員配置	
済生会新潟病院	1→2	0→0	0→1	1→1	1→1	0→0	0→0	0→0	【専門薬剤師】 当院が今年度から日本医療薬学会がん専門薬剤師研修施設となったため、当院の薬剤師が研修を行っている。まだ、院外からの受け入れには対応できていない。 【専門看護師】 増員策はなし。毎年、認定看護師研修受講の院内公募は行っているが、がん看護分野(がん薬物療法看護、緩和ケア、がん性疼痛看護)は施設が育成したい分野リストには入っていなかった。	【専門薬剤師】 施設単位ではなく、地域(県)全体で専門薬剤師育成サポートチームを結成するなどして積極的に育成していく。業務内容は研究・論文作成等のサポート、素朴な疑問を相談できる体制整備など。 【専門看護師】 ・施設基準の要件になれば、施設として積極的に育成しようと思う。 ・認定看護師の場合は研修機関が増えること(B課程になってから全国的に研修機関が減った)。新潟県内、特に自宅から通える範囲に研修機関があれば、家庭との両立がしやすい。 ・研修受講のための施設からのバックアップ(現在、認定看護師研修は出張扱いになるが、専門看護師資格取得のためのバックアップはなし) ・資格手当の増額 ・現在、院内で活動している認定看護師等の活動日の確保 ・専門看護師等の適材適所の部署配置 ・上司によるキャリア形成への支援 ・研修等で一生懸命学んでいる人を見つけて声をかけていく(人材育成につなげる)	【専門看護師】 コスバ、タイバと言われる時代に、どのように人材育成をしていけばよいか、知りたいです。
国立病院機構西新潟中央病院	0→0	3→3	0→0	0→0	0→0	0→0	0→0	0→0	ありません	当院のような総合病院ではない施設では養成が困難です。ただ国立病院機構内の転勤が可能で、そこで資格を取得することは可能です。意欲のある看護師・薬剤師に積極的な働きかけを行う必要があると感じました。	
長岡赤十字病院	0→1(0)	1→2(0)	2→2(0)	4→4(0)	1→2(0)	2→1(0)	0→0(0)	0→0(0)	検討中	費用のバックアップ 希望者に対する相談体制 学びたいと思わせる環境づくり	
長岡中央総合病院	2→2	0→1	1→1	1→1	2→1	0→0	0→1	0→0	今回、アンケート調査に求められるがん領域の認定看護師、専門看護師の増員対策は看護部としてはされていません。	専門看護師等を増やす策については、組織内での位置づけや活動評価などが必要だと感じています。	特になし
立川総合病院	0→0	0→0	0→0	0→0	0→0	0→0	0→0	0→0	特に実施していません。	当院では人員不足もあり、そもそもの看護師、薬剤師の人員の確保が必要です。	
新潟県厚生農業協同組合連合会 柏崎総合医療センター	1→1	0→0	1→1	0→0	1→1	0→0	0→0	0→0	特に実施していない	【共通】 ・インセンティブ 【看護部】 ・優秀な人材の確保 ・大卒者を採用し、大学院への進学をサポートする 【薬剤部】 ・がんに関わる研修会への参加補助 ・がんに関わる業務を担当してもらう(やり甲斐や適性を考える機会にする) ・院内の症例検討会に積極的に参加してもらう ・資格更新のための研修会等への参加補助	
魚沼基幹病院	0→0	0→0 (1人が研修中)	1→2 (1人増加の見込み)	1→1	0→0	2→2	0→0	0→0 (看護師1人が研修中 (令和9年3月卒業見込み))	特になし	特に拠点病院ではなく、機能評価だけでなく診療報酬加算・算定要件としての薬剤師および看護師を必須要件としてはどうか。有資格者からの推薦や部門長による声掛け(動機付け)も重要。	院内全体の人員が確保されていないと日頃の業務に追われてしまい資格取得への意欲は維持し難い。有資格者の日頃の仕事ぶりを見て、目指そうとしている傾向にある。しかし、有資格者の役割などに躊躇する看護師も多い。
新潟県立中央病院	1→1	0→0	2→2	0→0	0→0	0→0	1→1	0→0	専門薬剤師:実施には至っていないが、支援期間(最長3年間)を延長するよう求めている 専門看護師:増員策は特に講じていない	専門薬剤師:取得へのサポート体制と取得後の給与面での手当 専門看護師:既存の専門看護師が後輩を育成し関わることで、志望者の増加を促したい	
上越総合病院	0→0	0→0	0→0	0→0	2→0	0→0	0→2	0→0	特になし	まずは薬剤師及び看護師の確保することによって、専門を増員させていきたい	
新潟労災病院	0→0	0→0	0→0	2→2	0→0	0→0	0→0	0→0	特になし。	特になし。	
佐渡総合病院	0→0(0)	0→0(0)	0→0(0)	0→0(0)	1→1(0)	0→0(0)	0→0(0)	0→0(0)	特に実施していません。	意欲のあるものの情報を得てその関心を促し、研修手当、給与手当など、なんらかのインセンティブをつけてあげることだと思います。 自主的に専門性を身に付け、がん診療の質向上に手応えが感じられれば定着してくれます。	